

ホスホリラーゼキナーゼ

Cat. No. EXWM-3138

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 活性にはCa²⁺とカルモジュリンが必要です。この酵素は、二量体のホスホリラーゼbの各サブユニットの特定のセリン残基をリン酸化します。筋肉ホスホリラーゼでは、肝臓ホスホリラーゼではなく、さらに二量体化が伴い、四量体のホスホリラーゼを形成します。この酵素は、Ca²⁺依存性のリン酸化とグリコーゲンホスホリラーゼbの活性化を触媒することによって、筋肉の収縮とエネルギー生産をグリコーゲン分解-解糖と結びつけます。四量体酵素のγサブユニットが触媒サブユニットです。

別名 デフォスフォホスホリラーゼキナーゼ; グリコーゲンホスホリラーゼキナーゼ; **PHK**; フォスホリラーゼ**B**キナーゼ; フォスホリラーゼ**B**キナーゼ; フォスホリラーゼキナーゼ (リン酸化); **STK17**

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.11.19

CAS登録番号 9001-88-1

反応 $2 \text{ ATP} + \text{ フォスフォリラーゼ } b = 2 \text{ ADP} + \text{ フォスフォリラーゼ } a$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。